

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年12月22日 (2011.12.22)

【公開番号】特開2010-195756(P2010-195756A)

【公開日】平成22年9月9日 (2010.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-036

【出願番号】特願2009-66944(P2009-66944)

【国際特許分類】

A 6 1 K 33/06 (2006.01)

C 0 2 F 1/68 (2006.01)

C 0 1 F 11/18 (2006.01)

A 6 1 K 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 33/06

C 0 2 F 1/68 5 1 0 B

C 0 2 F 1/68 5 2 0 M

C 0 2 F 1/68 5 3 0 A

C 0 1 F 11/18 J

A 6 1 K 33/00

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 27/02

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月13日 (2011.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

貝殻、クエン酸（無水）、酢酸を含有する水に対して、さらに鉄イオンを加えて超音波処理を施す、ナノカルシウム溶解溶液の製造方法。

【請求項 2】

貝殻、クエン酸（無水）、酢酸を含有する水に対して、さらに鉄イオンを加えて超音波処理を施す、ナノミネラル溶解溶液の製造方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の製造方法を用いて作製したナノカルシウム溶解溶液。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の製造方法を用いて作製したナノミネラル溶解溶液。

【請求項 5】

溶解されたカルシウムが溶液中に（透明に）溶解した状態（溶液中にナノ化粒子として存在）で含有されるナノカルシウム溶解溶液。

【請求項 6】

溶解されたミネラルが溶液中に（透明に）溶解した状態（溶液中にナノ化粒子として存在）で含有されるナノミネラル溶解溶液。

【請求項 7】

請求項 3 又は 5 に記載のナノカルシウム溶解溶液を用いる機能性飲料品。

【請求項 8】

請求項 4 又は 6 に記載のナノミネラル溶解溶液を用いる機能性飲料品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

カルシウムをナノ化することにより、人体が吸収しやすくする。

超音波槽 30 l 容器の中に 1 mm 角の貝殻 10 kg、水 10 l、クエン酸（無水）5 kg、酢酸 5 kg、反応材として、鉄イオンを貝に反応させ、25 時間かけて超音波 28 kHz 900 W（100 V）で攪拌してカルシウムをイオン化させ、ナノカルシウム、ナノミネラルを抽出する

なお、ここに、まとめとして、本発明の好ましい実施の形態を示す。

（形態 1）

貝殻、クエン酸（無水）、酢酸を含有する水に対して、さらに鉄イオンを加えて超音波処理を施す、ナノカルシウム溶解溶液の製造方法。

（形態 2）

貝殻、クエン酸（無水）、酢酸を含有する水に対して、さらに鉄イオンを加えて超音波処理を施す、ナノミネラル溶解溶液の製造方法。

（形態 3）

形態 1 に記載の製造方法を用いて作製したナノカルシウム溶解溶液。

（形態 4）

形態 1 に記載の製造方法を用いて作製したナノミネラル溶解溶液。

（形態 5）

溶解されたカルシウムが溶液中に（透明に）溶解した状態（溶液中にナノ化粒子として存在）で含有されるナノカルシウム溶解溶液。

（形態 6）

溶解されたミネラルが溶液中に（透明に）溶解した状態（溶液中にナノ化粒子として存在）で含有されるナノミネラル溶解溶液。

（形態 7）

形態 3 又は 5 に記載のナノカルシウム溶解溶液を用いる機能性飲料品。

（形態 8）

形態 4 又は 6 に記載のナノミネラル溶解溶液を用いる機能性飲料品。